

実施主体：東京都、東京港埠頭(株)及び（一社）東京港運協会
協力：国土交通省関東地方整備局

実施ターミナル：大井1・2号ターミナル、大井3・4号ターミナル、
大井6・7号ターミナル、青海4号ターミナル

参加店社：本事業への参加を希望する全ての陸運事業者

実施時期：第6期(令和6年9月～11月)、第7期(令和7年1月～2月)

※第1期から第3期は令和4年度、第4期から第5期は令和5年度に実施

【参考：位置図】



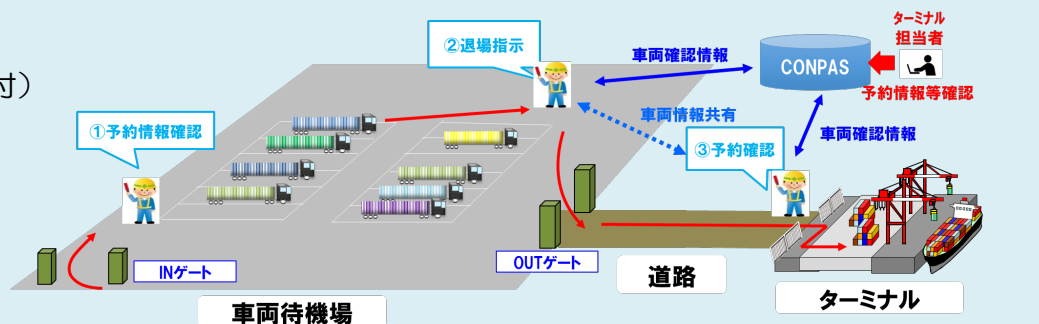
＜CONPASを活用した予約制事業の目的＞

- CONPASを活用した搬出入予約制の導入を推進し、
特定の時間帯に集中して来場するコンテナ搬出入車両を分散化
- トラックの到着時間の分散化により、ゲート前待機時間の削減
- ターミナル側も事前情報が取得できるため、効率的な荷役が可能

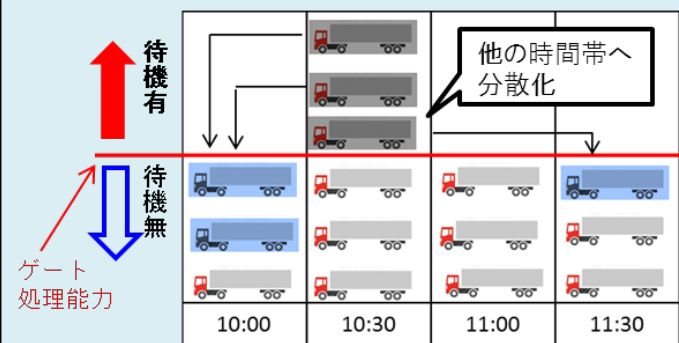
ゲート前混雑の解消を目指す

予約制の一連の流れ

- ① 予約車は車両待機場に入場し、予約情報の確認（受付）
※ゲート前混雑を避けるために車両待機場を活用
- ② 誘導員の指示によりターミナルへ移動
- ③ ターミナル前で予約情報を確認し、ゲートに入場
⇒CONPASを通じて予約情報や車両の到着状況等をリアルタイムに確認が可能



＜予約制の導入による平準化イメージ＞



1 取組概要

- 東京港では、令和4年8月からCONPASを活用したコンテナ搬出入予約制の取組を開始（令和5年度までに5期実施）
- 令和6年度は、青海ふ頭で初めてCONPASの取組を開始するなど実施規模拡大を図ったほか、一部ターミナルにおいてPSカード活用機能や搬入情報の事前照合機能のトライアルを行うなど、ターミナル運営の更なる効率化に向けた取組や、関係者の意見を踏まえたCONPASの機能改善等を行った。

【更なる実施規模拡大】

- ・ 令和6年度から青海4号ターミナルが参加し、**実施ターミナル数が4ターミナルに拡大**
- ・ 第7期は大井地区・青海地区で一部期間を同時並行で実施
- ・ 新たに業界紙への広告掲載も行い、参加対象陸運事業者数も堅調に推移

【東京港におけるCONPASの参加登録陸運事業者数の推移】

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
18社	47社	56社	176社	273社	318社	346社

※第3期までは東京都トラック協会海上コンテナ専門部会加盟店社のみが対象

【ターミナル運営の効率化に向けた取組】

- ・ 大井1・2号及び大井3・4号ターミナルにおいて、CONPASとターミナルオペレーションシステム（TOS）の連携に向けたシステム改修を実施
⇒第7期からは、予約車のPSカード活用機能によるゲート手続きや搬入情報の事前照合機能のトライアルも実施

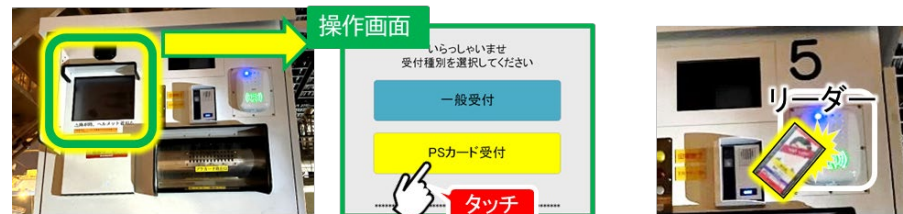
<PSカード活用機能によるゲート手続き（CONPAS車）>

- ・ ゲート部においてPSカードを活用することで、**ゲート手続きを簡素化**

<搬入情報の事前照合>

- ・ 搬入情報を事前にサイバーポート上に入力し、TOS上の情報と事前に照合しておくことで、**ゲート処理手続きを円滑化**

【PSカード活用機能によるゲート手続き（大井4号の例）】



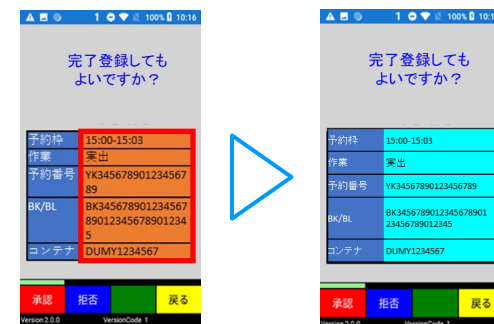
【関係者の意見を踏まえたCONPASの機能改善】

<ターミナル向けの改修例>

- ・ 屋外でPSカードリーダーを使用するため、予約確認画面が光の反射で見えにくいことがある
⇒画面遷移の際の色調を変更。屋外使用時の視認性を高め、操作性を向上

<陸運事業者向けの改修例>

- ・ 過去の予約取得状況を確認したい。また、ペナルティポイントの蓄積状況がわかるとよい。
⇒予約履歴の検索機能を実装。今後ペナルティポイントの蓄積状況に応じたアラート機能の実装等を検討

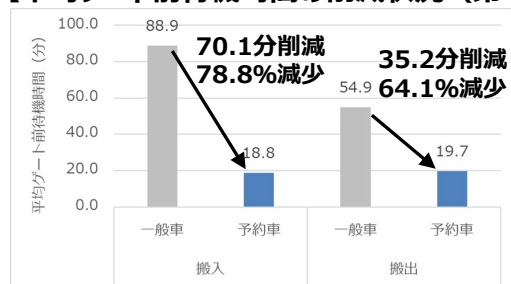


【PSカードリーダーの色調変更
（左：変更前、右：変更後）

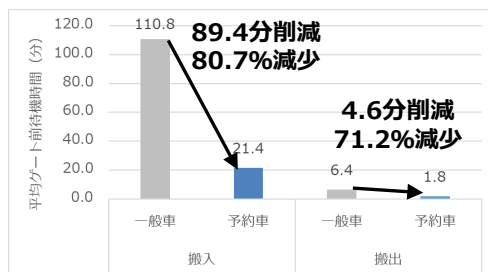
2 取組結果

- 第6期及び第7期を通じた**平均ゲート前待機時間※1**は、**非予約車と比較し、予約車の方が短縮**
- 第7期陸運事業者アンケート回答者の86%が「今後も利用したい」と回答しており、東京港を利用する陸運事業者側にも着実にCONPASが浸透
- 大井1・2号及び大井3・4号ターミナルでは、TOS連携を経て、東京港で初めて「搬入情報事前照合の試験運用」を実施。利用者拡大や更なる利便性向上に向けた課題はあるが、港湾物流業務の電子化に対する関係者からの期待は高い。
- 一方、大井車両待機場の立地上の課題により、交通量の多い交差点等で車両の滞留が発生した事例も確認

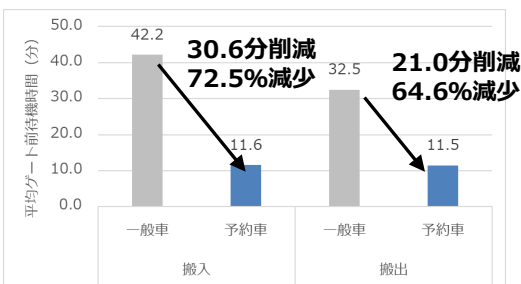
【平均ゲート前待機時間の削減状況（第6期及び第7期を通じた実績）】



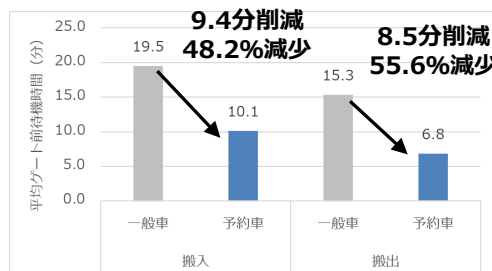
大井1・2号ターミナル※2



大井3・4号ターミナル※3

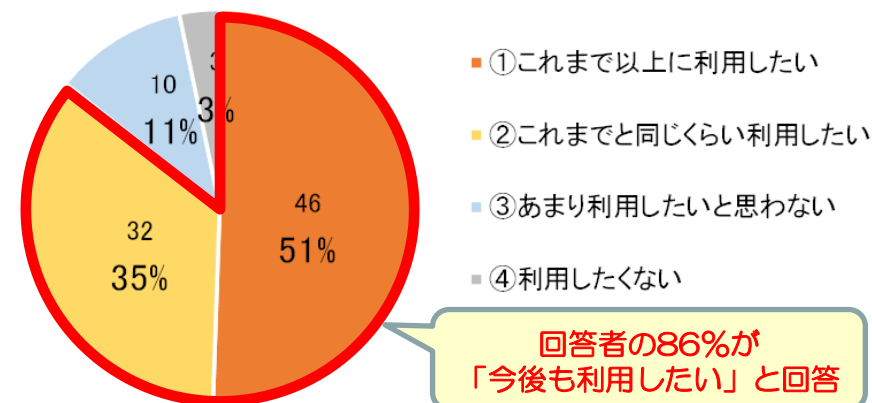


大井6・7号ターミナル



青海4号ターミナル

【今後のCONPASの利用意向（第7期陸運事業者アンケート）】



予約車の平均ゲート前待機時間が短縮し、陸運事業者の業務が効率化

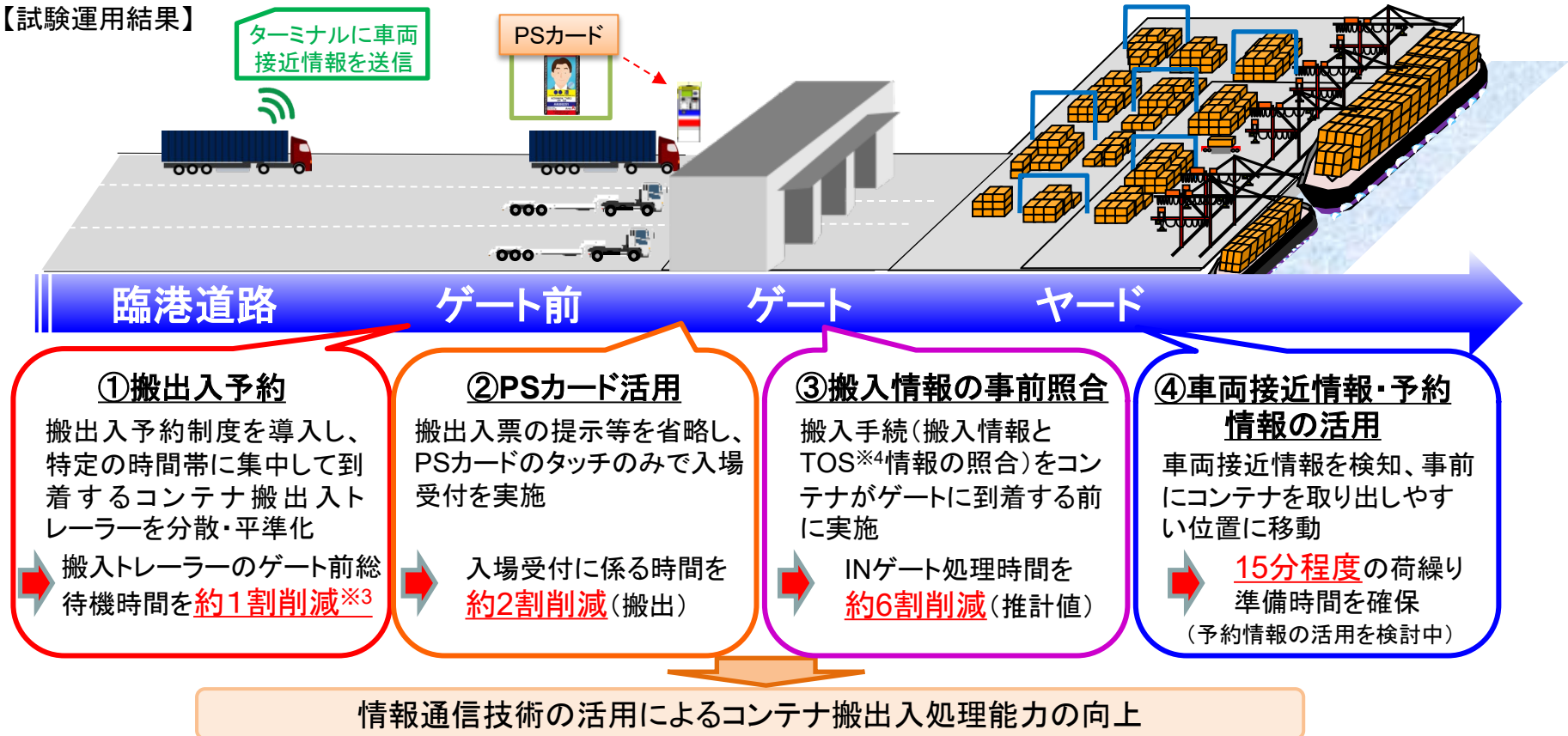
- ※1：予約車の平均ゲート前待機時間は車両待機場からゲート前までの移動時間も含む（大井3・4号ターミナルの搬出車両は待機場を経由しないため除く）
 ※2：大井1・2号ターミナルの搬入車両は、第6期は「搬入（空）」、第7期は「搬入（実入・空）」で集計
 ※3：大井3・4号ターミナルはゲート改修工事のため、第6期の実施無し

3 今後の展開

- 東京港でCONPASを活用した予約制の取組を更に普及促進していくため、一部のターミナルにおいて、実施期間を区切らない通年での運用を開始できるよう引き続き関係者と協議を進めていく。
- また、関東地方整備局が中心となり、関係事業者の協力を得ながら今後も搬入情報の事前照合に関する取組を推進することで、更なるゲート作業の効率化を進め、東京港の混雑解消を目指す。

- CONPAS® ※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的としたシステム。
- ゲート前混雑が深刻化する中、情報通信技術の活用により、ゲート手続やヤード内荷役作業の効率化を実現するため、横浜港において試験運用を実施。
- 横浜港で2021年3月より常時運用※2を開始。
- 東京港においても2022年8月からCONPAS®を活用したコンテナ搬出入予約制事業の取組を開始。

【試験運用結果】



※1 CONPAS: Container Fast Pass の略

※2 2021年3月より「搬出入予約機能」「PSカード活用した受付機能」の常時運用開始、2021年4月より「搬入情報の事前照合機能」の常時運用開始

※3 搬入トレーラーの14%が CONPASで予約を行った場合

※4 ターミナルオペレーションシステム

【参考】令和6年度東京港におけるCOMPAS®を活用した予約制事業実施状況

期	場所	期間	参加登録 陸運店社数 (台数)	実施種別	予約台数	予約枠設定	予約本数 (期間内 総計)
第6期	大井 1・2号 ターミナル	令和6年 9月9日～ 10月8日 ※平日20日間	318社 (7,002台)	①搬出(実入・空) ②搬入(空)	【8時・13時枠】 ①25台②5台 【その他】 ①40台②20台	6 枠／日 (1)8時～9時※、(2)9時～10時、(3)10時～11時、 (4)13時～14時、(5)14時～15時、(6)15時～16時 ※ゲートオープン時間を踏まえ車両待機場から退場指示	4,255台
	大井 6・7号 ターミナル			①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)	①15台／h ②15台／h ※13時枠は各8台/h	5 枠／日 (1)9時～10時、(2)10時～11時、(3)13時半～14時、 (4)14時～15時、(5)15時～16時	1,089台
	青海4号 ターミナル	令和6年 11月6日～ 11月19日 ※平日10日間		①搬出(実入・空)	①10台／h	5 枠／日 (1)9時～10時、(2)10時～11時、(3)13時～14時、 (4)14時～15時、(5)15時～16時	122台
第7期	大井 1・2号 ターミナル	令和7年 1月28日～ 2月14日 ※平日13日間	346社 (7,209台)	①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)	【8時・13時枠】 ①25台②実入5台・空5台 【その他】 ①40台②実入5台・空20台	(第6期と同じ)	2,640台
	大井 3・4号 ターミナル				【8時枠】 ①10台②25台 【その他】 ①20台／h ②50台／h	6 枠／日 (1)8時半～9時※、(2)9時～10時、(3)10時～11時、 (4)13時～14時、(5)14時～15時、(6)15時～16時 ※ゲートオープン時間を踏まえ車両待機場から退場指示（車両待機場 を経由しない搬出を除く） 昼ゲートオープン実施日(火・水)のみ、以下 の予約枠を設定 (7)11時～12時、(8)12時～13時	3,308台
	大井 6・7号 ターミナル				①15台／h ②30台／h ※13時枠は①8台/h②15台/h	(第6期と同じ)	988台
	青海4号 ターミナル				①10台／h ②実入5台・空10台	(第6期と同じ)	514台
		令和7年 2月5日～ 2月19日 ※平日10日間					5

【参考】令和５年度東京港におけるCONPAS®を活用した予約制事業実施状況

期	場所	期間	参加登録 陸運店社数 (台数)	実施種別	予約台数	予約枠設定	予約本数 (期間内総計)
第４期	大井 １・２号 ターミナル	令和５年 ８月30日～ 10月12日 ※平日30日間	176社 (5, 251台)	①搬出(実入・空) ②搬入(空)	①35台／h ②15台／h	6 枠／日 (1) 8 時～ 9 時※、(2) 9 時～10時、 (3)10時～11時、(4)13時～14時、 (5)14時～15時、(6)15時～16時 ※ゲートオープン時間を踏まえ車両待機場から退場指示	5, 660台
	大井 ３・４号 ターミナル			①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)	①30台／h ②40台／h	6 枠／日 (1) 8 時半～ 9 時※、(2) 9 時～10時、 (3)10時～11時、(4)13時～14時、 (5)14時～15時、(6)15時～16時、 ※ゲートオープン時間を踏まえ車両待機場から退場指示 (車両待機場を経由しない搬出を除く) 昼ゲートオープン実施日(火・水)のみ 以下の予約枠を設定 (7)11時～12時、(8)12時～13時	9, 658台
	大井 ６・７号 ターミナル	令和５年 10月13日～ 10月26日 ※平日10日間		①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)	① 5 台／h ② 5 台／h ※13時枠は各3台/h	5 枠／日 (1) 9 時～10時、(2)10時～11時、 (3)13時半～14時、(4)14時～15時、 (5)15時～16時	158台
第５期	大井 １・２号 ターミナル	令和６年 1月29日～ 2月9日 ※平日10日間	273社 (6, 282台)	①搬出(実入・空) ②搬入(空)	【8時・13時枠】 ①25台②5台 【その他】 ①40台②20台	(第４期と同じ)	1, 558台
	大井 ３・４号 ターミナル			①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)	①20台／h ②40台／h	(第４期と同じ)	2, 666台
	大井 ６・７号 ターミナル			①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)	① 6 台／30m ② 6 台／30m	9 枠／日 (1) 9 時～ 9 時半、(2) 9 時半～10時、 (3)10時～10時半、(4)10時半～11時、 (5)13時半～14時、(6)14時～14時半、 (7)14時半～15時、(8)15時～15時半、 (9)15時半～16時	319台

【参考】令和4年度東京港におけるCONPAS®を活用した予約制事業実施状況

期	場所	期間	参加登録 陸運店社数 (台数)	実施種別	予約台数	予約枠設定	予約本数 (期間内総計)
第1期	大井 1・2号 ターミナル	令和4年8月22日 ～9月2日 ※平日のみ10日間	18店社 (366台)	①搬出 (実入・空) ②搬入 (空)	①8台／h ②5台／h	60分枠・6枠／日 (基本) (1)8時～9時※1 (2)9時～10時 (3)10時～11時 (4)13時～14時 (5)14時～15時 (6)15時～16時 昼ゲートオープン実施日のみ、 以下の予約枠を設定※2 (7)11時～12時 (8)12時～13時 ※1 ゲートオープン時間を踏まえ 車両待機場から退場指示 ※2 大井1・2号：第2～3期の 火・水曜日 大井3・4号：第1～3期の 火・水曜日	310本
	大井 3・4号 ターミナル	令和4年9月5日 ～9月16日 ※平日のみ10日間		①搬出 (実入・空)	①15台／h		183本
第2期	大井 1・2号 ターミナル	令和4年11月16日 ～11月30日 ※平日のみ10日間	47店社 (1319台)	①搬出 (実入・空) ②搬入 (空)	①20台／h ②10台／h		1236本
	大井 3・4号 ターミナル			①搬出 (実入・空) ②搬入 (実入)	①15台／h ②15台／h		666本
第3期	大井 1・2号 ターミナル	令和5年2月8日 ～2月21日 ※平日のみ10日間	56店社 (1510台)	①搬出 (実入・空) ②搬入 (空)	①35台／h ②15台／h		1152本
	大井 3・4号 ターミナル			①搬出 (実入・空) ②搬入 (実入・空)	①15台／h ②35台／h		1943本